

平成25年度 第4回 数理分子生命理学セミナー

日時：平成 25 年 5 月 17 日 (金) 16:20～

場所：理学部 E208 講義室 (いつもと時間と部屋が違います。)

講師：入江 一浩先生 (京都大学 農学研究科)

演題：ポリフェノールによるアルツハイマー病予防の可能性

要旨：アルツハイマー病 (AD) は進行性の神経変性疾患であり、高齢者における認知症の主な原因の一つである。AD の根本的治療法が確立されていない現状において、AD の発症を未然に防ぐことができれば、本疾患による医療費を大幅に削減できるものと考えられる。近年、AD を予防する食品因子としてポリフェノールが注目されている。ポリフェノールは、芳香族炭化水素の 2 個以上の水素が水酸基で置換された化合物群であり、10000 種以上が報告されている。果物や野菜などに広く含まれているポリフェノールは、安全性が高く、また日常的に摂取できるというメリットがある。本講演では、AD 予防効果が期待されるポリフェノールを、その構造と活性との関係や作用機構に焦点をあてて紹介する。